

# 防犯 かわちながの

平成23年2月

第4号

河内長野防犯協議会  
586-0024 河内長野市西之山町6-1  
河内長野警察署内  
0721-54-1234



地域と警察の合同パトロール(千代田地区)

## 防犯標語は「防犯は ボクが目 キミの目 みんなの目」に決定

河内長野防犯協議会、河内長野警察署、河内長野市では、ひったくりなどの街頭犯罪を防ぐため、広く市民のみなさんに防犯について考えてもらおうと「防犯標語」を募集しました。広報などで昨年8月に募集したところ、1,348件の応募があり、河内長野市生活安全推進協議会による厳正な審査の結果、最優秀作品1点と優秀作品2点が選定されました。これらの作品のうち、最優秀作品については、マグネットへ印刷し、市役所の公用車や南海バスの車両などに貼り付けて広く防犯への啓発を図ります。



入賞作品と受賞者は次のとおりです。

最優秀作品「防犯は ボクが目 キミの目 みんなの目」 石丸信彦さん  
優秀作品 「こんにちは その言葉から 防犯活動」 北原淳子さん  
優秀作品 「あいさつは 犯罪とめる 助け船」 鶴長愛佳さん

受賞作品は、11月28日開催の「安全・安心まちづくり市民大会」において表彰され、式の後、各受賞者のみなさんへ標語について話を聞きました。(写真右 左から北原さん、石丸さん、鶴長さん)



(石丸さん)「犯人へのアンケート調査によると、犯人は人に見られるのを一番嫌うという結果が出ていたので、防犯は地域みんなの目が重要だという思いを込めました」

(北原さん)「田舎では知り合いも多く、『こんにちは』と声をかけ合うことが当たり前ですが、新しい地域でも知らない人同士だからこそ、声をかけあうことが大切です。その言葉から地域で輪が広がり、それが防犯活動につながっています」

(鶴長さん)「私の住んでいる地域では、あいさつ運動を実施しています。あいさつは、犯罪を犯そうとする人への抑止力となり、犯罪が減る効果があると思います」

今回の標語募集にあたり、作品全般から言えることは、防犯は、地域で声をかけ合い、コミュニティの充実を図ることが大切であるということです。また、知り合いを増やし、自分たちのまちは自分たちで守るという意識を市民一人ひとりが互いに認識し、犯人を寄せ付けない地域にすることで防犯効果が発揮できるものと考えます。

## 平成22年も河内長野市は治安の良いまちの評価を維持しました

平成21年、河内長野市は犯罪発生率が府下33市中一番少ない、即ち最も安全で安心なまちという素晴らしい成果を得ました。

そして平成22年、河内長野市の犯罪発生率は前年に比較してさらに12%も減少させることができ、順位こそ第2位となりましたが、治安の良いまちの評価を高いレベルで維持し続けています。

また大阪府全体でも犯罪は減少しています。街頭犯罪は11年ぶりにワースト1を脱しました、中でも悪名高い「ひったくり」件数は35年ぶりにワースト1を千葉県にゆずるなど府全体で防犯活動を頑張った1年でした。

これは、河内長野警察署の日頃の警戒活動に加え、犯罪発生地域を重点にピンポイントの警戒実施などと共に、防犯協議会をはじめ地域の防犯活動に携わっている人達による防犯パトロールや防犯キャンペーンなどの自主防犯活動の成果と考えます。

これからも、警察署、市役所等の関係機関との連携を強化し、より一層の活動を展開して、犯罪者を寄せ付けない安全・安心なまち河内長野を目指して行きたいと考えています。

## 河内長野防犯協議会の主な活動

### 1. 地域安全運動の実施

春と秋の全国地域安全運動の街頭キャンペーンとして啓発物品を配布し運動の啓発を図りました。

4月21日、天野山金剛寺の弘法大師正御影供の日、地域の防犯関係者と防犯レディスの皆さんにより実施しました。

10月13日早朝、河内長野、千代田、三日市町、美加の台、汐ノ宮の各駅前にて通勤通学途上の皆さんを対象に実施しました。

防犯関係者をはじめ市長、市議会関係者、府議会議員、そしてモックルも参加しました。



### 2. 防犯講演会の開催

8月27日、キックスイVENTホールで開催しました。

府警本部の矢野恵子氏の「子ども安全見守り隊の必要性」の講演の後、生活安全指導班の婦警さんの愉快な寸劇による防犯教室で笑いながら防犯のポイントを学びました。

また、河内長野防犯協議会の活動の紹介を行いました。



### 3. 安全・安心まちづくり市民大会への参画

11月28日、キックスイVENTホールで開催されました。

防犯標語の優秀作品の紹介のあと、市長により入選者3名の表彰が行われました。

今回大会のテーマは交通安全についてでしたが、「河内長野市の交通安全対策について」の取組報告がされました。



### 4. 歳末警戒部隊出発式への参加

12月1日、野作第一公園で警察と消防の歳末警戒部隊の出発式を行いました。防犯レディスの西田部長が一日署長として部隊を視閲し、パトカーなどの警察車両、ポンプ車などの消防車両、そして南花台防犯協力隊、加賀田中学校区青色パトロール隊、市役所の青色パトロールカーが場内をパレードして出発しました。



## 地域における防犯活動

### 1. 千代田南町の「安全パトロール隊」が発足

近隣の千代田地区での“子どもへの声かけ”や不審者の出没、さらに町内でも“ひったくり”が発生した状況に対応し、千代田南自治会では「防犯・防災委員会」を組織されました。

その活動の一環として「安全パトロール隊」を立上げ、10月14日自治会館において千代田南老人会・子供会の皆さん及び河内長野警察署・市役所のメンバーが参加して活動開始のセレモニーが行われ、そのあと子供見守りパトロールを行いました。これからの活躍が期待されます。



### 2. 日本財団の助成による青パトの出発式

南花台防犯協力隊は日本財団の「自主防犯活動推進のための青パト配備助成金」を受けて、3台目となる青パトを購入配備しました。

10月26日、南花台東小学校において来賓と全校学童の前で6年生の学童代表がテープカットを行いスタートしました。

これは外部資金を活用しての防犯設備導入の初めてのケースとなります。



### 3. 古野地区防犯教室の開催

7月23日、古野会館にて自治振興課の上野、て「地域で防犯をはじめませんか」というテーマで町会の親睦バス旅行の車中での防犯



山口両氏を講師として講演を開催した。ビデオなどで地域防犯

活動をしてきたつもりでしたが、両氏の分かり易い講演に参加者全員が熱心に聞き入っていました。防犯とは「となり近所と仲良くなること」を再認識しました。（長野第二支部 北浦 皓司）



## 地域と警察の合同パトロール

### 1. 天野地区での合同パトロール

全国地域安全運動の一環として10月19日、天野第二支部ではサニータウン自主防犯委員会の通学路「安全パトロール隊」と河内長野警察署生活安全課、天野駐在所、市青色パトロール隊、天野小学校関係者が学校に集結して、平素の送迎ばかりでなく夏季休校中も猛暑のなか一日も休まず、天野児童会学童の送迎に奮闘していただいた「安全パトロール隊」に対し感謝と日頃の労をねぎらいました。

集会後、山間部で車の往来の激しい通学路をバイクの先導でパトロールカーが巡視を行いました。（天野第二支部 廣瀬 義雄）



### 2. 千代田地区での合同パトロール

千代田交番地区での街頭犯罪発生率が全市の4.5%を占め、特に子どもに対する声かけ事案や不審者の出没が目立つなど治安の悪化が懸念される状況のなかで、千代田小中学校教職員、PTA関係者、防犯関係者などと河内長野署との合同パトロールを実施しました。

（千代田第二支部 北尾 忠行）

防犯協議会としては、活動重点の「犯罪状況に応じた防止策の推進」の一環として、治安の悪化あるいは犯罪が発生したとき、警察署と連携して、その現場でタイムリーに合同パトロールを実施し犯罪抑制と地域の防犯意識の向上に努めたいと考えています。

また、地域から実施の要請があれば積極的に対応して行きたいと考えています。



「一戸一灯運動」は自主防犯活動の大きな柱として推進します。

# はじめよう、防犯★ 一戸一灯運動に参加しましょう

一戸一灯運動って？

一戸一灯(いっこいっとう)運動とは、夜間に各家庭の門灯や玄関灯を点灯して、住宅街の暗がりをなくするという運動です。仕事帰りの女性や、部活動・塾帰りの子どもを狙う痴漢やひったくり等の犯罪を遠ざけることができ、加えて、自宅への侵入盗防止にもつながります。

どうして朝まで点灯するの？

犯罪は、とかく暗いところや深夜に起こりがちです。犯罪者は見られることを最も嫌います。ひとつひとつの灯りは小さなものでも、多くの灯りは町全体を明るくすることになります。地域みんなで取り組むことが大切です。

この「一戸一灯運動」をはじめとする地域での防犯活動は、犯罪に強いまち、安全・安心のまちづくりにつながります。地域での防犯活動に参加することが、自分自身や大切な家族を守ることに なります。

まずは、できることから始めてみませんか？ 私達のまちは、私達で守りましょう！

**河内長野防犯協議会・河内長野警察署・河内長野市**

## ・・・防犯協議会に加盟しましょう・・・

河内長野防犯協議会は河内長野警察署や河内長野市役所の指導・支援を受けながら、地域に根ざした防犯活動を推進する多くの自治会の方々に、地域安全情報や防犯情報の発信、防犯講演会の開催などの啓発活動に取り組んでいます。また、当市の防犯行政に関する情報の多くは協議会を通して発信されています。

しかしながら、当市の全自治会のうち約30%の自治会が加盟されていないのが現状です。現在、協議会はその様な自治会について加盟促進の取組みを行っています。

地域の自主防犯活動のために、協議会に加盟したい、あるいは、とりあえず協議会に問い合わせたいとお考えの自治会の方は、下記へご連絡ください。

河内長野防犯協議会 組織部長 石丸 信彦(64-0833)

河内長野警察署 生活安全課(54-1234)

河内長野市役所 自治振興課(53-1111)

皆さんの「安全・安心のまちづくり」の取組みにきっとお役に立てると考えています。